

医師・看護師・介護職員の大幅増員を実現し安全・安心の医療・看護・介護を提供しよう



# 看護闘争委員会ニュース

発行：岡山県医労連看護闘争委員会

2010年5月17日

10"春  
ナースウェーブ



写真(左)署名にとりくむ岡山医療生協労組の橋本委員長、(上)今年の新人(渡辺君)もがんばりました(倉敷医療生協労組)、(右)署名後の全体学習会の様子



ILO看護職員条約  
・夜業条約の批准  
待ったなし

## 30分で810筆の署名

## 長時間労働は「看護師の健康」を奪っている!

2010年春のナースウェーブは、5月15日(土)7単組から61名が集まり美観地区で署名行動(810筆)を行ったあと、日本医労連中央執行委員で看護闘争委員会事務局長の中野千香子さんを講師に「ILO看護職員条約を批准させ、国際基準を職場に生かし、誇りを持って働き続けよう」と題して学習を行いました。2009年の秋に行った「看護職員の労働実態調査」では、7割の看護師が慢性疲労の状態にあることや、健康不安やストレスを感じている人が他産業より多く、安定剤や睡眠薬を常用している看護師が年々増えている実態が報告されました。

改善のためには「有休4週間・連続12時間の休息(勤務と勤務の休息时间)」や「引きつけて、留める水準の報酬」また、夜業労働者の労働時間を短縮するなどを提言している「ILO看護職員条約・夜業条約」を批准し職場に生かすことだと強調されました。また、ヨーロッパでは「乳癌」のリスクに「夜勤」が関与しているとして労災認定されていることも報告されました。

## 職場報告に共感と感動

<岡山医療生協労組>

「7：看護基準」導入に伴い、休みがとりにくい。9回夜勤協定が守れないなどの実態が報告。病欠者が出た職場の看護師は「4月12回の夜勤を・・・」

<倉敷医療生協労組>

NPT国際会議に参加した看護師が、カンパや署名に職場の協力で取り組み目標以上のカンパが寄せられたことや、ニューヨークでの活動内容をパワーポイントで報告。参加者は「すごい!」

<林精研労組>

2年過程通信制で「看護師」になりました。医労連が中心に組織している「よりよい移行教育をめざす岡山の会」の会員が励まし合いながら頑張った成果。改めて医労連の力のはずごい!

<全医労>

2交替制導入が全医労で増えている。3日前に南岡山病院でも病院が「導入の意向」を伝えてきた。「乳癌や健康被害」の原因となる2交替には反対して闘いたい

<天神会>

現場は、年々看護度が上がっており夜勤は休むことなく16時間動きまわっている。